



早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構

<https://www.waseda.jp/inst/oi/>



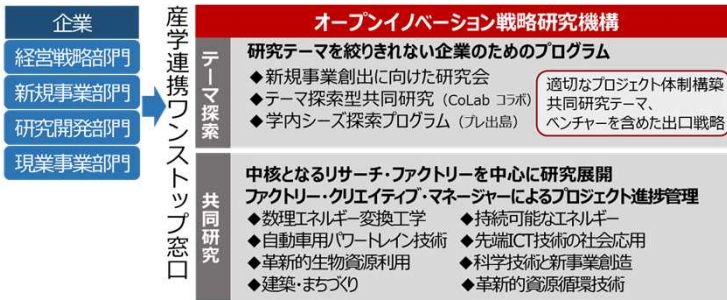
統括CM: 中谷 義昭

三菱電機(株)にて、複数の製作所長、常務執行役・電力・産業システム事業本部長、専務執行役・電子システム事業本部長等を歴任。同社における社会インフラ事業に長年携わり、スマートグリッド事業、宇宙事業等の技術開発推進に貢献。国際大電力システム会(CIGRE)の国内委員会副委員長を務め、大学・産業界の立場を超えた委員会運営にも取り組んだ。

統括CMからのメッセージ

私は長年企業に勤め、工場での開発・生産等の「ものづくり」を指揮し、会社全体の経営にも携わってきました。現在、企業の持続的成長を顧みるに、国際競争力の維持向上のみならず、ESGの観点やSDGs目標に資する企業活動に向かうことが必須です。加えて少子高齢化・コロナ禍での働き方改革、プレーヤーの多様化、デジタルイノベーションの波などを背景に、長年培ってきた自前主義だけで勝ち残ることは困難になってきました。このような時に早稲田大学は「教育」と「研究」に次ぐ大学の第3の役割として「社会価値創造」を掲げ、オープンイノベーションを本格的に開始しました。「組織」対「組織」で、「課題解決」から「事業創発」に至るまでワンストップで産業界と連携できる総合大学ならではのオープンイノベーションを目指し活動を続けています。

機構の取組概要



※リサーチ・ファクトリーとは、本学の次代を担う研究者を核とした、企業と様々なマネジメントモデルで共同研究を進める研究開発プロジェクトのことです。

主な取組み

- 早稲田オープンイノベーションの持続的成長を見据えて：企業の事業パートナーとして特長ある社会実装拠点を構築します。**
- ① 総合大学の強みを生かした文理融合型共同研究を推進
 - ② 透明性のある共同研究費を企業に提示、得られた間接的経費を財源に持続的なエコシステムを構築中
 - ③ 産学連携新研究棟竣工に伴い「早稲田オープン・イノベーション・ハレー構想」を推進

研究分野例



○深層学習による
多用途ロボット開発

○不正ハードウェア検知

- 次世代ヒートポンプ
- 高性能ターボ機械システム
- 自動車/ハイブリッドシステムのモデル構築
- ビッグデータ解析
- 省エネ可能なゼオライト膜による分離プロセス
- 品質保証システム&ソフトウェア
- 生物資源・材料の利用
- 次世代住宅地モデルの開発
- まちづくり 交流拠点モデルの開発
- 資源循環実現のための高度分離技術・プロセス開発
- 企業の新事業創出